

1 地区の概況

- ◆ 瀬谷区の南東部にある阿久和エリアのうち北側の部分が阿久和北部地区です。11自治会で構成されています。
- ◆ 単身世帯の比率が区平均と比べて少なく、夫婦と子どもの世帯が多いです。一戸建て住宅の多い地域で、集合住宅には一人暮らし高齢者や高齢者世帯が多く住んでいます。10年以上居住されている方が区平均よりやや高くなっています。
- ◆ 地区内には長屋門公園や見守り合い広場（向原第二公園）もあり、住民が参加しやすいイベントが多く行われています。

2 第1期・第2期で取り組んだ主な活動や事業

- ◆ 地区内の公園で体操を実施<見守り合い広場で毎朝顔合わせ体操の実施>
- ◆ 定年後の男性を地域の活動に取り込む：おやじの広場が誕生し、地区内で活躍
- ◆ 地区内に子どもからお年寄りまでの交流の場をつくる：サロン「喫茶だんらん」の開催
- ◆ 見守りネットワークの体制づくり
 - ・ 年1回「見守り合いのつどい」を開催。各自治会の取組状況をパネルにて発表することで情報共有を行っている。また、見守り合いをテーマとした講演会を毎回実施。
 - ・ 11自治会でより良い見守りネットワークの体制づくりを構築するため、活発な活動をしている自治会より、取組内容について発表し、連合全体での底上げを図った。
- ◆ 新しい形のコミュニティ拠点づくり

地域住民の手で大きな傘「みまもりの家」を建設し「そこに行けば誰かがいる」をコンセプトとして日々運営している。子どもからお年寄りまで楽しめるイベントも開催。

3 第3期計画に向けての課題

- ◆ 顔の見える関係づくり

防災に関する取組は、日頃の見守りが基礎となります。単位自治会での取組が活発になることで、よりきめ細やかなネットワークが構築できます。

第2期では、新しい形のコミュニティ拠点「みまもりの家」を立ち上げて運営してきましたが、より多くの方に活用してもらうために更なる運用が必要です。
- ◆ 健康長寿を目指す事業の展開

健康アンケートを行うことでニーズを把握し、効果的な取組を展開します。
- ◆ 各種事業の情報共有と連携

数多くの事業を行うなかで、各事業の相乗効果を得るような情報共有や連携が必要です。

4 推進母体

阿久和北部見守り合いネットワーク実行委員会

阿久和北部代表者会議メンバー <<連合自治会長・地区社会福祉協議会（各種団体会長・各種部会等会長）>> ボランティアグループ代表、障害者団体代表、小中学校・保育園、阿久和北部内福祉施設、阿久和北部地区支援チーム

5 第3期計画

未来につなげる笑顔のあふれるまちづくり

～元気で見守り支え合い安心できる地域を目指して～

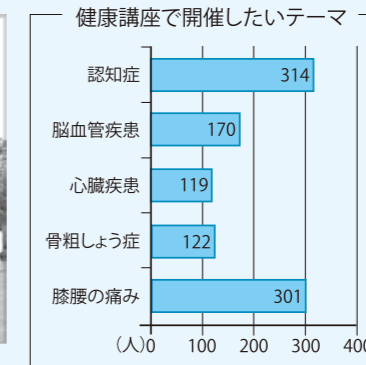
①見守り合いシステムの構築

- ◆ 各自治会ごとのシステム構築への支援（防災の観点も踏まえたシステム構築）
- ◆ 大きな傘「みまもりの家」の更なる運用

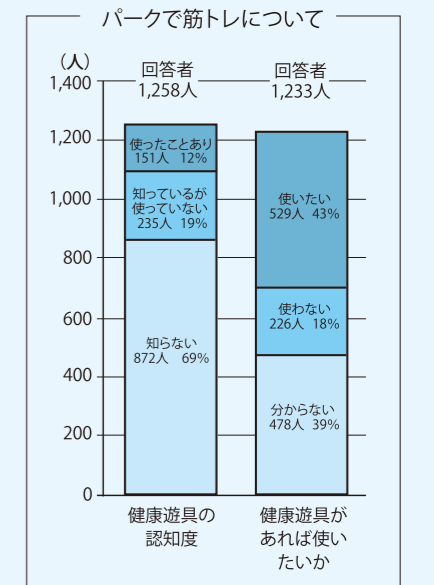


②「見守り合い広場」を健康づくりの拠点に

- ◆ 健康アンケートを踏まえ、健康づくりに関する事業の開催
- ◆ 健康遊具の設置《パークで筋トレ》



健康アンケートより抜粋



③みんなで手を携え地区内の事業展開に更なる推進を

- ◆ 様々な枠を越えて各種事業の情報共有と連携
- ◆ 中学生等の地域での活躍の場の更なる拡充
《見守り合いのつどい・さとまつり・防災訓練・その他》
- ◆ 情報発信のあり方と工夫

